

<2026年6月19日発表>

## 引退前にもう一度！ 貝塚線 600 形をツートンカラーへ復刻塗装します！

- 西日本鉄道(株)では、貝塚線で運用中の 600 形の1編成(608 号車、659 号車)について、大牟田線(現:天神大牟田線)運行開始当時のマルーン&ベージュのツートンカラーを復刻した特別塗装を実施し、2026年6月25日より運行を開始します。
- 貝塚線 600 形(2代目)は、1962年に運行を開始した現在運用している中で最も古い車両であり、2025年度下期より順次引退しています。600 形は当初、マルーン&ベージュのツートンカラーで大牟田線にて運行を開始し、1978年以降は順次アイスグリーンカラーへ変更、さらに1990年以降は貝塚線へ順次転籍し、オキサイドイエローカラーへと姿を変えてきました。
- 引退発表以降、鉄道ファンの皆さまからは、往年のツートンカラーやアイスグリーンカラーの復刻塗装を望む声が多数寄せられました。昨年は「西鉄電車アイスグリーン 50 周年企画」の一環として、600 形1編成(606 号車、656号車)をアイスグリーンに復刻塗装し、多くの反響をいただきました。こうしたご要望に再びお応えし、このたび新たに1編成(608 号車、659 号車)でツートンカラーの復刻塗装を実施するものです。引退を控えた 600 形の最後の雄姿に、温かいご支援をお願いいたします。



### ■ 西鉄電車 600 形 ツートンカラー復刻塗装 概要

【運行期間】 2026年6月25日(木)～2028年3月(予定)  
※車両運用の都合により運行期間は前後する可能性があります。

【車 両】 西鉄 600 形(608 号車、659 号車)  
定員:139 名(1 両あたり)  
編成:2 両

### ■ 西鉄 600 形の歴史



1951年:急行列車の輸送力増強と居住性向上の為に600形(初代)を製造しました。西鉄初の3両固定編成列車で、車体は18m級2扉、吊り上がったような形の2窓が特徴です。納入時は固定クロスシートを配置されていましたが、輸送力改善のために急遽ロングシートに改装しました。



1962年:600形(2代目)が誕生。都市圏の通勤輸送における混雑激化に対応した、特急から普通までの運用が可能な汎用電車として開発しました。基本編成は2両(一部3両)固定で、状況に応じて4～7両編成を設定できます。1980年までは、マルーン&ベージュのツートンカラーで運行していました。



1978年：車体の改良工事により、自動式方向幕が設置され、前照灯の位置も車両上部から窓下部に変更しました。また、カラーリングがアイスグリーンの車体にボンレッドの帯を配したものになりました。  
(2025年7月より復刻塗装車両が運行中)



1990年：宮地岳線(現：貝塚線)に順次転籍。塗色もアイスグリーンからオキサイドイエローの現行カラーに変更しました。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel050-3616-2150)まで